

2024

9.25 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_62djY5EHS922oqdrjUTxg

【技術支援】九州大学 Q-AOS

夏の暑熱ストレス： 暑さに打ち勝つ

司会：キム シューマツハ 准教授 (Q-AOS コーディネーター)



Key Words

暑熱ストレス

体温

アミノ酸

脳内ホルモン

鶏

スル チョードリ ビシュワジット 准教授

基幹教育院 自然科学実験系部門 生物資源環境科学府 動物栄養生理学分野



スルチョードリビシュワジット、九州大学大学院生物資源環境科学府教養学部准教授。共創学部と生物資源環境科学府で教育を行うとともに、「ストレスと栄養生理学」の研究をしています。「鶏の暑熱ストレス」に関する研究で、日本畜産学会賞（2022年）と日本家禽学会賞（2017年）を受賞しました。九州大学（2010年）に着任する前は、2004年から2008年まで広島大学と早稲田大学でポストドク研究員、2008年に法政大学生物学科の講師、2009年に東京医科歯科大学生物医学部の特任准教授を務めました。ポストドク時代には、新規神経ホルモン、ゴナドトロピン抑制ホルモン（GnIH）とその相合体について研究していました。現在、100報を超える査読付き原著論文、13報のレビュー論文、3つの書籍での分担執筆および数多くのシンポジウムで発表しています。なお、広島大学で博士号を取得したときに（2004年）、ストレス生理学に関する研究に対して学長賞を受賞しました。

深刻化する地球温暖化に伴って、夏場の気温上昇（HAT）は加速しています。このことは、すべての生物にとって深刻な問題であり、解決しなければならない大きな課題となっています。HATは、健康、経済、生存を危険にさらす暑熱ストレスを引き起こします。私たちの研究室では、汗腺を持たない鶏を暑熱ストレス研究のモデル動物として使用しています。このことは、汗腺の発達が十分でない子供や汗腺の活動が低下した高齢者の暑熱ストレスを考える上で非常に有用です。私たちの研究室では、鶏がHATにさらされると、血中アミノ酸と脳ホルモンの一部が変化することをみつけました。さらに、これらのアミノ酸と脳ホルモンの耐暑性と抗ストレスの役割を持つことも発見しました。このセミナーでは、HAT誘発性の暑熱ストレスというグローバルな課題に立ち向かうために、これらの発見を共有する機会をみなさんに提供します。私たちの研究成果は、ストレス時の生理と栄養の関係を理解する上で重要であり、多くの動物種と生物学的文脈において広範囲にわたる影響を及ぼします。